

(新) 低炭素で成長する日本モデルの構築等事業

24百万円(0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の概要

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させるという「気候変動枠組条約」の目標の達成のためには、世界全体の排出量を自然界の吸収量と同等レベルにまで大幅に削減する必要がある。

気候変動を主要テーマとしたハイリゲンダム・サミット(2007年6月)に先立ち、我が国は「美しい星50」を打ち出し、世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに現状より半減するとの長期目標を提唱し、そのための手段として低炭素社会の実現を提案した。

我が国は、来年7月の洞爺湖サミットにおいて、「低炭素社会ビジョン」を提示するとともに、その具体的な姿を「低炭素で成長する日本モデル」として構築し、世界が参考とすることができるよう発信する。

2. 事業計画

「低炭素で成長する日本モデル」の構築

(我が国が提唱する低炭素社会モデルの構築)

...我が国の伝統及び環境・エネルギー技術や深刻な公害克服の経験・
智慧を活かし、国土、産業、家庭等の各部門ごとに、低炭素社会づくりに向けた将来の姿を取りまとめる。

低炭素社会モデルの発信

...「2050年半減」の長期目標とその実現手段について途上国を含めた国際的な合意が得られるように、温暖化対策と公害対策を一体的に進めるコベネフィット対策を含めた環境と調和した美しい社会づくりを「日本モデル」として全世界に向けて発信していく。

3. 施策の効果

低炭素社会モデルの構築と発信を通じて、こうした社会に至るまでの政策面を含めた道筋(ロードマップ)が明らかとなり、我が国のリーダーシップのもと、「2050年半減」に向けた長期目標とその実現手段についての国際的な取組の促進へと繋がる。

4. 備考

調査費 24百万円

(内訳) 低炭素で成長する日本モデルの構築と発信等

24百万円